

## 用語集

### A～Z

---

#### MICE (マイス)

多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。企業等の会議 (Meeting)、企業等が行う報奨・研修旅行 (Incentive travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、イベント・展示会・見本市 (Event、Exhibition) の頭文字をとっている。

#### NPO (エヌ・ピー・オー)

Non-Profit Organization. 民間非営利団体のこと。営利を目的とせず、公益のために活動する民間団体の総称。

## あ行

---

#### エコツーリズム [ecotourism]

一般には、自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につなげていくことを目指した観光のこと。

沖縄県では、①自然・歴史・文化の適切な保全と持続的な活用、②地域の活性化、③訪問者が適切な案内を受けて地域の自然・歴史・文化とふれあう活動の3つの要素を満たす観光をエコツーリズムの考え方に掲げ推進している。

#### オープンスペース [open space]

公園・広場・河川・農地など、建物によって覆われていない土地あるいは空地を総称している。

#### 沖縄21世紀ビジョン

県民の参画と協働のもとに、将来 (概ね2030年)のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取り組みの方向性と、県民や行政の役割などを明らかにするために平成22年3月に作成された基本構想。沖縄県として初めて策定した長期構想で、沖縄の将来像の実現を図る県民一体となった取り組みや、これからの県政運営の基本的な指針となるものである。この基本構想を元に、平成24年度から平成33年度までの20か年を計画期間とする基本計画 (21世紀ビジョン基本計画) と、平成24年度から平成28年度までの5か年を計画期間とする実施計画 (21世紀ビジョン実施計画) が作成された。

## か行

---

#### 河川整備率

5年から10年に一度程度発生する規模の降雨について、河川における洪水の氾濫の防御が必要な区域に対し、防御されている区域の割合。

#### 幹線道路

全国、地域または都市内において、骨格的な道路網を形成する道路。通過交通のワイ愛が高く、重交通、広幅員、高規格の道路であることが多い。

## 既成市街地

一般には、都市において、道路が整備され建物が連担するなど、すでに市街地が形成されている地域。都市計画法において、明確に定義されている。(→参考：人口集中地区)

## グリーン・ツーリズム [green tourism]

みどり豊かな農山漁村地域において農漁業体験や生活体験を行うことによって、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。

## 景観行政団体

景観法に基づく景観施策を実施する地方公共団体のこと。平成 24 年 5 月 1 日現在、県内では沖縄県及び 19 市町村が位置付けられている。

## 景観計画

地域の良好な景観の形成に向け、景観行政団体が策定する計画。景観形成に関する基本方針や区域等が記載されている。平成 24 年 5 月 1 日現在、県内 9 市町村で策定されている。

## 下水道

主に市街地において下水を処理する施設。排水管、排水渠その他の排水施設、処理施設及びポンプ施設等の補完施設の総体をいう。集落排水施設や合併処理浄化槽等の生活排水事業と連携し、地域にあった処理方式により整備が進められる。

## 広域都市計画区域

複数の市町村でひとつの都市計画区域を構成している区域。平成 28 年 4 月現在、県内 7 都市計画区域のうち、那覇市を中心とする那覇広域都市計画区域（11 市町村）、沖縄市を中心とする中部広域都市計画区域（5 市町村）が広域都市計画区域である。

## 高次都市機能

都市機能のうち、日常生活圏域を超えた広域圏を対象とする施設などにより、多くの人々に教育、文化、医療、行政、産業、交通、情報等について質の高いサービスを提供できる機能のこと。

## コミュニティバス [community bus]

公共交通が不便な地域などで、高齢者や体の不自由な方にも安全で利用しやすく、地域住民の多様なニーズにきめ細かく対応する地域密着型のバスのこと。市町村が運行する一般路線がコミュニティバス路線となることもある。

## さ行

### 再生可能エネルギー

化石燃料以外のエネルギー源のうち持続的に利用することができるものを活用したエネルギーであり、太陽エネルギー、風力エネルギー、バイオマスエネルギー、水力エネルギー、海洋エネルギー等のこと。化石燃料（石油、石炭、天然ガスなど）やウランなどの鉱物資源を利用するものは「枯渇性エネルギー」という。

## 市町村の都市計画に関する基本的な方針（マスタープラン）

市町村が創意工夫のもと、住民意見を反映させ将来ビジョンを確立し、地域ごとの将来像など、都市計画法第18条の2に基づき定める方針。市町村が定める都市計画は、この方針に即しなければならない。

## 社会資本

道路や公園、下水道、教育施設等の公的基盤施設。

## 住区基幹公園

住民の生活行動圏域によって配置される比較的小規模な公園で、都市計画で位置づけられた、街区公園、近隣公園及び地区公園が含まれる。

## 住民参加

都市計画・まちづくりにおける住民参加とは、目標設定・計画策定・事業実施の各プロセスにおいて、地域住民が意思を反映させ、また計画の作成・決定・実施へ参画していく状態・プロセスをいう。これらの過程において住民の主導権が高いものは住民主体のまちづくりという言い方もある。

## 循環型社会

生産から流通、消費、廃棄に至るまでの物質の効率的な利用やリサイクルを進めることにより、資源の消費が抑制され、環境への負荷が少ない社会のこと。

## 情報通信産業振興地域制度

情報通信関連産業の振興を図ることを目的とした、沖縄振興特別措置法第28条に基づく地域指定制度のこと。電気通信、ソフトウェア事業者等に対する、地域内での設備投資に係る投資税額控除等の優遇措置を内容とする。

## スプロール [sprawl]

市街地が無計画に郊外に拡大し、虫食い状の無秩序な市街地を形成すること。スプロールの弊害として次の問題がある。  
①道路、下水道の都市基盤が未整備のまま低質な市街地が形成され、防災上、環境上の問題が生じる。  
②市街地が開発不適地まで拡散し、公共投資の日効率化を招く。  
③形成された低質市街地を良好な環境に改善するには、社会的に困難が伴うだけでなく経済的に膨大な経費を必要とする。

## 世界遺産

1972年にユネスコ総会において採択された条約で、締結国は世界156ヶ国にも及ぶ。文化・自然遺産を人類全体のための世界の遺産として保護、保存し、国際協力で援助の体制を確立することを目的としている。

## た行

---

### 多自然川づくり

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らし等との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息環境や多様な河川景観を保全・創出するために河川整備や維持管理を行うこと。全ての河川における基本的な方針であり、国場川、比謝川をはじめ県内各地で多自然川づくりが進められている。

### 地域地区

都市計画区域内の土地をその利用目的によって区分し、建築物などについての必要な制限を課すことにより、一体的かつ合理的な土地利用を実現しようとして定める都市計画法に基づく都市計画の種類の一つ。用途地域をはじめとして、特別用途地区、風致地区、臨港地区などがある。

### 地区計画

建築物の建築形態、公共施設その他の施設の配置からみて、一体としてそれぞれの区域の特性にふさわしい態様を備えた良好な環境の各街区を整備し、及び保全するための詳細な計画。住民意識の高まりに対応し、昭和55年に創設された制度。

### 鉄軌道を含む新たな公共交通システム

県民及び観光客の移動利便性の向上、中南部都市圏の交通渋滞緩和、低炭素社会の実現、県土の均衡ある発展を支える「骨格性」、「速達性」、「定時性」等の機

能を備えた大量輸送が可能な公共交通システムのこと。沖縄県では、既存の道路空間やバス機能を活用した基幹バスシステムの導入等により、公共交通の利用環境の改善を図りつつ、鉄軌道等の導入に向けた取組を推進することとしている。

### 透水性舗装

雨水を地下に浸透させ、流出を防ぐ、水を通す舗装。

### 特定用途制限地域

用途地域が定められていない土地の区域(市街化調整区域を除く)内において、その良好な環境の形成または保持のため当該地域の特性に応じて合理的な土地利用が行われるよう、制限すべき特定の建築物等の用途の概要を定める地域。

### 都市化社会

都市への人口や産業等初機能が集中し、それに伴い市街地が拡大していく社会。

### 都市型社会

市街地を拡大していくのではなく、これまで年に整備された社会資本を最大限活用し、安定・成熟した都市環境が形成された社会。

### 都市機能

文化、教育、保健・医療・福祉、商業、工業などのサービスを提供する機能や住居機能のこと。

## 都市計画区域

都市計画法その他関係法令の適用を受け  
べき土地の区域で、市町村の中心市  
街地を含み、かつ、自然的・社会的条件、  
人口・土地利用・交通量などの現状・推  
移を勘案し、一体の都市として総合的に  
整備、開発及び保全する必要がある区域。

## 都市計画マスタープラン（都市計画区 域の整備、開発及び保全の方針）

県や市町村による都市計画の基本方針  
の総称。県が策定する都市計画区域の整  
備、開発及び保全の方針を「都市計画区  
域マスタープラン」といい、市町村が策  
定する都市計画の基本方針を「市町村マ  
スタープラン」という。

## 都市公園等

都市公園法に基づいて供用する公園。  
都市計画決定された公園以外の公園も含  
む。

## 都市構造

人や産業が集中する拠点の位置と、主  
要な人や物の流れによって形成されるネ  
ットワーク等から捉えた都市の骨格のこ  
と。

## 都市的土地利用

都市生活または都市活動を営む都市的  
な土地の使いみちのこと。

## な行

---

### ノーマライゼーション

#### [normalization]

障害を持っている人も、家庭や地域で  
一緒に生活ができるようにする社会づく  
りのこと。

## は行

---

### バイオマスエネルギー

エネルギー源として使うことができる、  
再生可能な生物由来のエネルギー資源  
（化石燃料は除く）の総称。木材チップ  
廃材やさとうきびの絞りかす（バガス）  
などがある。

### ハシゴ道路ネットワーク

沖縄本島を南北方向に走る3本の幹線  
道路（国道58号、国道329号、沖縄自  
動車道）とそれを結ぶ東西方向の複数の  
幹線道路で構成されるはしご状の道路ネ  
ットワークのこと。当該ネットワークの  
構築により、各地から広域交流拠点まで  
のアクセス時間の短縮や、那覇都市圏を  
はじめとした交通渋滞の緩和等が期待さ  
れる。

### バリアフリー

障害者や高齢者等が生活する上で妨げ  
になる物理的、精神的な障壁を取り去っ  
た障害者や高齢者等にやさしい空間のあ  
り方。

## 万国津梁

「世界の架け橋」のこと。1458年に尚泰久(しょうたいきゅう)王の命で鑄造され、首里城正殿にかけられたと伝えられる「旧首里城正殿鐘」の銘文に「万国津梁」の文字がある。

## 風致地区

都市の自然的景観を維持するため、都市計画法によって定められる地域地区の一つ。指定された地区内では、建造物の高さや建ぺい率の制限などの規制を受ける。県内では、那覇市(2地区)、名護市(4地区)、うるま市及び南城市において指定されている。

## ブルー・ツーリズム [blue tourism]

離島や沿海部の漁村に滞在し、魅力的で充実したマリンライフの体験を通じて、心と体をリフレッシュさせる体験型観光や余暇活動のこと。

## ま行

---

### モビリティ [mobility]

個人の空間的移動の自由度を表し、交通計画・政策の指標となる。モビリティ指標の例としては、交通手段選択の制約や移動における速達性や快適性や安全性、所要時間の信頼性等がある。

## や行

---

### ユニバーサルデザイン

#### [universal design]

障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方のこと。

### 用途地域

都市における住居、商業、工業などの適切な配置による機能的な都市活動の確保を目的として、建築物の用途、容積率、建ぺい率、高さなどを規制・誘導する都市計画・建築規制制度のこと。